



# 外国語教育学研究 2018 まとめとディスカッション

# 春学期：CEFRの理論的基礎と CEFR-J

- 4月10日：イントロダクション：TUFS CEFR-J x 27 プロジェクトの背景 CEFR とは何か？〔 投野 〕
- 4月17日：歴史的背景 CEFR の基礎理念（1）：CEFR 第1章を全員で読んできて、グループでまとめと質疑応答 複言語主義
- 4月24日：CEFR の基礎理念（2）：行動中心主義（2.1）〔 平井 〕 / 共通参照レベル（2.2）〔 高橋 〕 / 言語教育・評価の理念（2.3 & 2.4）〔 オウヨウ 〕
- 5月1日：CEFR の基礎理念（3）：共通参照レベル（3.1-3.3）〔 ジャックス・ミカエラ 〕 / can do ディスクリプタの特徴（3.4）〔 アマリ 〕
- 5月8日：レベルとスキルの細分化（3.5）CEFRレベルの内容一貫性（3.6）〔 山崎 〕
- Active Learning 課題1：Content coherence をレベル×スキルの表に細分化した表を作成し、それに A4 2ページくらいでどういう記述の特徴があるかを自分なりに解釈してまとめたレポートを提出する（提出：5月22日）
- 5月15日：ディスクリプタの読み方（3.7）〔 前田 〕 / ディスクリプタの言語能力への利用法（3.8）〔 トウイ 〕 / 能力レベルと到達度評価（3.9）〔 アキオカーチュン 〕
- 5月22日：CEFR のレベル感覚を磨く（1）：sorting exercise とディスカッション / CEFR のレベル感覚を磨く（2）：descriptor を書いてみる
- 5月29日：CEFRのレベル感覚を磨く（3）：CEFTain でレベル判定を試してみる
- 6月5日：CEFR-J とは何か？ Q17〔 リキン 〕 / CEFR-J における can do ディスクリプタの作成と妥当性検証〔 トウセイ 〕 / Q21〔 田中 〕 / Q22〔 オノン 〕
- 6月12日：Q23〔 片井 〕 CEFR-J の関連リソースの整備：CEFR-J Wordlist の整備 Q24〔 多門 〕 / Q25〔 岡田 〕 CEFR-J の関連リソースの整備：CEFR-J ELP Database
- 6月19日：専攻言語の学習語彙表の現状などを紹介（一人5分程度）
- 6月26日：専攻言語の学習語彙表の現状などを紹介（一人5分程度）（つづき） / 各国の CEFR 利用の状況調査（適宜）（一人5分程度）
- 7月4日：CEFR-J 文法プロファイルの整備手法 / 各言語の文法の難易度レベルなどの現状レポート / CEFR-J テキストプロファイルの整備手法

# 秋学期：CEFR-J x 27 言語リソース構築

- 10月2日 講義：CEFR から CEFR-J そして CEFR-J x 27 へ
- 10月9日 講義：Core Inventory for General English とは / 演習(S)：Scenario を作ってみる
- 10月16日 講義：Pearson Global Scale of English とは / 演習: Teacher's Toolkit を使ってみる
- 10月23日 講義：English Profile とは / 演習: English Vocabulary Profile を使ってみる
- 10月30日 講義：CEFR-J Wordlist からの多言語語彙表作成（1） / 演習：語彙表作成の基礎（1） / レベル別テキストの語彙表作成演習 / 汎用コーパス検索(MLTP) / 英語データの品詞タグ付け(TagAnt)
- 11月6日 講義：L: CEFR-J Wordlist からの多言語語彙表作成（2） / 演習: 多言語語彙表への変換 → 多言語語彙表の評価レポート (Active Study)
- 11月27日：「多言語語彙表の評価」個別発表
- 12月：多言語ラウンジ（セッション参加、インストラクター実習）
- 12月 4日 講義と演習：Phrase list の作成と評価
- 12月11日 講義と演習：CEFR-J 準拠のタスク作成の方法 / タスク作成キットの利用
- 1月8日 講義：CEFR-J 準拠のテスト作成方法
- 1月15日 まとめの講義とディスカッション、最終レポート提出



# 最終レポート

- ▶ 英語以外の言語（と英語を比べて論じてもよい）
- ▶ CEFR準拠の言語教育を行う際に必要な資料と構築方法
- ▶ CEFR利用の状況などを考慮に入れながら
- ▶ CEFR準拠で外国語教育を行う意義
- ▶ 直面する課題





## グループ・ディスカッション

- ▶ できるだけ異なる言語で、話したことのない人とグループになりましょう。（1グループ：4-5人）
- ▶ 自分が書いたレポートの内容を他の人とシェアします。



# ディスカッション・トピック1

- 自分の選んだ言語を紹介し、もしその言語をよく知らない人がいたら簡単に特徴を教えてください。
- 続いて、CEFR 準拠の言語教育をその言語で行うとした場合、どのような準拠教材があるか（ないか）、言語資料としてどのようなものを整備する必要があるか、それを構築するための資料類はどの程度手に入りそうか、など調べたことをもとに現状を説明しましょう。



## ディスカッション・トピック2

- その国での CEFR の普及や浸透度はどうか、自分が調べた内容を教えてあげましょう。
- 最後に、CEFR利用の意義は何だと思うか話し合きましょう。同時に、直面する課題は何かを意見交換しましょう。
- 自分が書いたレポートと他の人の意見を比べて、自分なりにどういう視点や背景知識を持って、CEFRを利用すべきかを意見交換してみましょう。